

MARCH



お知らせ

3月のミサ

9日 第2日曜日

16日 第3日曜日

30日 第5日曜日

- ☆3/2 (日) 灰を作ります。
(2/9~3/2 去年の枝を回収しています)
- ☆3/9 (日) のミサで灰を受けます。
- ☆3/16 (日) 新潟教区、大瀧浩一神父様による黙想会です。

黙想会 13:30 ~ 14:20
御聖堂

(黙想会の前に 13:15~
十字架の道行きを行います)。

記念写真・休憩 14:20~14:30
ゆるしの秘跡 (第1回)

14:30~15:20
応接室

ミサ 15:20~16:20
ゆるしの秘跡 (第2回)

16:20~17:00
応接室

ゆるしの秘跡が終わり次第終了

神父様は酒田市内で夕食をとられ
鶴岡亜教会で宿泊される予定です

『わたしは神を待ち望み』

『そのおことばに希望をおく』
(詩編 130)

3月のスケジュール

2日 (日) 年間第8主日
集会祭儀
灰を作る

4日 (水) 灰の水曜日
大斎・小斎日
(四旬節の開始)
酒田では行われません

9日 (日) 四旬節第1主日
十字架の道行き
ミサ (灰を受けます)
話合い

16日 (日) 四旬節第2主日
十字架の道行き 13:15
ミサ
大瀧神父様による黙想会

23日 (日) 四旬節第3主日
十字架の道行き
集会祭儀
教会内清掃

30日 (日) 四旬節第4主日
十字架の道行き
ミサ

十字架の道行き 11:15a.m.
ミサ・集会祭儀 11:30a.m.

3朗読当番

2日	祭壇奉仕	柿崎圭介	23日	祭壇奉仕	荻原徹
	第1朗読	今野幸子	四旬節第3	第1朗読	折坂志津枝
	第2朗読	荻原徹		第2朗読	柿崎圭介
9日	先唱	荻原徹	30日	先唱	柿崎圭介
四旬節第1	第1朗読	折坂志津枝	四旬節第4	第1朗読	今野幸子
	第2朗読	齋藤純子		第2朗読	佐藤浩子
16日	先唱	柿崎圭介			
四旬節第2	第1朗読	今野幸子			
	第2朗読	佐藤浩子			

祈りの意向
教皇の意向
危機に瀕する家族
日本に教会の意向
性虐待被害者





精神と心を豊かに

もし、私がもう一度若くなって、問題と緊張の多いこの世を有意義にわたるための秘訣を子供たちに教えることができるのなら、精神と心を豊かにする次の6つの資質を強調するだろう。

一 Self-confidence 一自信一

子供の生まれながらの長所を静かに見守り、導きたい。

ひとつのことをよくすると他のこともできると思い、自信がつく。

二 Enthusiasm 一熱意一

熱意とは、もろいもので、軽蔑やあざけりを受けたり、失敗を繰り返したりすると、簡単に消えてしまう

三 Compassion 一同情一

たいていの子供は、生き物が傷ついたり苦しんでいたりと見ると、極度に、敏感に反応する。

四 Respect 一尊敬一

尊敬とは、尊重するだけの値打があり、将来にも継続し続けなければならない価値観があることを確信すること。

現代の多くの問題は、この秘められた革新の不足からくる乗せはないか。

- 犯罪は法律への尊敬の不足
- 公害は、他人の権利への尊敬の不足
- 劣っている手腕は、質への尊敬の不足
- 歪曲されたニュースは心理への尊敬の不足

この資質を、ぜひ子供に要求すべきである。

五 Resilience 一柔軟性一

現状にかたくなに固執する人たちは、真っ先にショックの被害を受ける人たちである。

心の温かさ、好奇心、楽観というような資質を育成してやることだ。

六 Hope 一希望一

希望を持つことは何にもまして勇気のいることだ。

それは暗い時代から明るい時代に目を向ける能力であり、

問題には必ず解答があると信じ障害は乗り越えられると信じ、

難問もやがては解決できると信じる能力である。

希望に満ちた子供を育てるには先生自身が希望に満ちていなければならない。

悲観と恐怖と憂鬱は、極めて強い伝染力を持っている。

信仰心は希望を支える一つの柱である。

(ステファノ・デランジェラ「出会いの日々人生の参考書」より)